



第88号



発行 宇治市教育委員会  
〒611-8501  
京都府宇治市  
宇治琵琶33番地  
TEL (0774) 21-1879  
https://www.city.uji.kyoto.jp/

編集 学校教育課内  
「学校教育広報」  
編集委員会

教育長からのメッセージ

# 『新たな力を身につけて、 自分の世界を広げていきましょう!』



教育長 岸本 文子

Withコロナにおいて、新しい学校の生活様式の中で行われている授業や学校生活で頑張っている子ども達、ご家庭で支えてくださる保護者の皆様、学校へ様々なご協力をいただいている地域の皆様、学びを止めることなく創意工夫しながら頑張っている教職員の皆様に対しまして、日々の努力に心から感謝申し上げます。

## 人はなぜ学ぶのでしょうか。

長引く新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の中、「なぜ学ぶのか?」という本質的な問いについて、あらためて考えてみますと、それは「新たな力を身につけることで、自分の世界を広げていくこと」にあると思います。

赤ちゃんが、這い這いから掴まり立ちを経て、立つ力を身につけ、歩く力へと成長していくことで、歩行による新たな世界が広がっていきます。また、話したり、聞いたりする力が身につくことで、人と会話する世界へと広がっていきます。さらには、文字を読み書きできるようになることで、子ども達は無限の広がりを見せる知識と知恵の大海原に歩を進めることになるのです。学ぶことで育ち、身につけた力で世界観が広がり、新たな学びへの意欲につながっていく。その一連の流れの中に、はじけるような学びの喜び、わくわくするような探究の楽しさや感動がある。このことを教育の本質であると思います。また、人は身につけた力を使い、何かをなすことで、人に喜びを与え、その喜びにより、自己有用感や自己肯定感が育つのだとも思います。

人が学ぶことの意味、育つことの意味を考え、ご家庭で、地域で、学校で、子ども達に力をつけ、新しい世界を広げながら、知恵と創造性を育み、身につけた力を生かす場を、どのように用意し、励ましていくのかは、私たち大人の務めであると思います。

Withコロナ2回目の夏を迎えます。くれぐれもお体を大切に、健康第一でお願いします。今後とも、本市といたしましては、より良い教育の推進のため、子ども達が安全安心で健やかにを第一に考え、学びの保障や心身の健康に向けた取組を進めてまいります。引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ご家庭でも引き続き感染拡大防止にご協力をお願いします

### 毎日の健康観察

- 毎日の検温
- 発熱や風邪の症状があるときは、無理せず自宅療養
- 家族に体調不良者がいる場合は外出を控える

### 手洗いの励行

- 外から帰ったとき
- 咳やくしゃみ、鼻をかんだとき
- 共有のものを触ったとき
- 食事の前後 等

### 咳エチケットの徹底

- 咳・くしゃみをする際に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる

### 密の回避

- こまめな換気
- 身体的距離の確保
- マスクの着用 (熱中症の心配があるときは外す)

### 抵抗力を高める

- 十分な睡眠
- 適度な運動
- バランスのとれた食事



### STOP コロナ差別

- 不安を差別につなげない
- 正しい知識と情報を知る
- 患者やその家族、医療従事者等への配慮

(文科省及び法務省啓発資料をもとに作成)

# 令和3年度 宇治市教育予算のあらまし

令和3年度 教育予算(当初分) 43億8602万円

本市教育委員会では、「宇治市第5次総合計画」(平成23～令和3年度)に基づき、着実に政策や事業を進めています。本年度の主な事業を以下に示し、その内容を紹介します。(コロナ関連を除く) ★新規事業 ○拡充事業 ◆継続事業



## 子ども達が 光り輝く 小中一貫教育推進のために

- ◆小中一貫教育推進費 ..... 5,016万円  
小学校3年生に本市独自の学力調査を実施  
小中一貫教育体制運営教員(ラーニングコーディネーター)を全中学校ブロックに配置し、小中一貫教育を推進
- ◆英語指導助手設置費 ..... 4,798万円  
英語指導助手(AET)を小中学校及び幼稚園に派遣
- ◆いきいき学級支援員設置費 ..... 2,053万円  
特別な教育的支援を要する児童生徒への支援体制の充実
- ◆「宇治学」推進事業費 ..... 406万円  
「宇治で学ぶ、宇治を学ぶ、宇治のために学ぶ」をコンセプトとした「宇治学」(総合的な学習の時間)を推進
- 小学校・中学校コンピュータ教育充実事業費 ..... 1億289万円  
コンピュータ教育充実に要する環境整備等の費用(小・中学校へのICT支援員配置を含む)
- ◆小学校プログラミング教育推進費 ..... 705万円  
令和2年度より必修化したプログラミング教育を推進するため、全小学校で人型ロボット(Pepper)を活用
- ◆教育情報ネットワークシステム運営費 ..... 1億4,304万円  
校内外の教育情報ネットワークシステムに関する管理運営に要する経費
- ◆図書館教育充実事業費 ..... 2,770万円  
中学校ブロックごとに各1名の学校司書を配置し、司書教諭と連携しながら学力向上に資する取組を継続推進
- 小学校・中学校就学援助費 ..... 1億2,683万円
- 地域学校協働活動推進費 ..... 305万円  
学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進する取組を実施
- 幼稚園預かり保育事業費 ..... 320万円  
市立全幼稚園において預かり保育を試行実施
- ★子どもの読書活動推進事業費 ..... 37万円  
子どもの読書活動推進計画(第3次推進計画)を策定



AETによる授業支援



教員のICT活用研修

## 安全・安心な 幼稚園・学校づくりのために

- ◆小学校・中学校・幼稚園維持整備事 ..... 1億201万円  
安全・衛生の確保及び施設の老朽化等に対応
- ★安全対策強化費 ..... 1,350万円  
校内及び周辺の安全対策を強化するため、中学校に防犯カメラを増設
- ★西小倉地域小中一貫校整備検討事業費 ..... 50万円  
西小倉地域における小中一貫校の整備に向けた準備に要する経費
- ★中学校給食用地調整費 ..... 300万円  
用地取得の積算に必要となる測量・分筆等に要する経費
- ◆給食・調理環境充実費 ..... 2億4,700万円
- ◆中学校昼食提供事業費 ..... 656万円
- ◆緊急安全対策事業 ..... 3,844万円

## 子どもたちの健全な成長を サポートするため

- ◆学校支援チーム活動費 ..... 842万円  
学校現場の解決困難な事象について、学校支援チームを編成し、専門的な助言や関係機関との連携により、早期解決に向けた支援を実施
- ◆不登校児童生徒支援事業費 ..... 629万円  
福祉的支援を含めた総合的な不登校児童生徒の支援を実施
- ◆心と学びのパートナー派遣事業費 ..... 169万円  
中学校を対象に臨床心理学専攻の大学院生等を派遣
- ◆少年補導活動費 ..... 525万円
- ◆生徒指導研究推進費 ..... 159万円
- ◆青少年健全育成推進費 ..... 228万円
- ◆不登校児童生徒自立支援教室運営費 ..... 577万円
- ◆放課後子ども教室支援事業費 ..... 282万円
- ◆生徒指導緊急配置支援員派遣事業費 ..... 245万円

## 「次期宇治市教育振興基本計画」の策定にむけて

- ★教育振興基本計画策定費 ..... 53万円  
本市教育委員会では、平成26年3月に宇治市の教育の指針となる「宇治市教育振興基本計画(平成26年度～令和3年度)」を策定しました。今年度は宇治市の教育をさらに発展させていくための指針となる「次期宇治市教育振興基本計画(令和4年度～令和15年度)」の策定を行います。

# My school pride ~私たちの学校自慢~

(昨年度の取組を含む)

## 菟道第二小学校



菟道第二小学校は、今年で開校69年目を迎えます。全校児童585名、22学級(令和3年5月1日現在)で、教育目標に「知・徳・体の調和のとれた発達を図り、21世紀を心豊かに、たくましく生きる児童の育成」を掲げて、教育活動を進めています。児童は「進んで学び深く考える子」「命を大切にする思いやりのある子」「強い心と体の元気な子」「力を合わせてやりぬく子」を目指して、学習や様々な活動に頑張っています。

今年度からGIGAスクール構想実現に向けて、1人1台タブレット端末を活用し、個別最適化された学びと協働的学びの一体的な充実で、資質・能力を一層確実に育成できる教育に全学年が取り組んでいます。

小中一貫教育では、宇治中ブロック3校で、「やましろスタンダード」を活用しながら、小中教員が連携し、学力の充実・向上に向けた取組を進めています。

これからも、学校・家庭・地域がつながり、一丸となって、より良い学校づくりを目指していきます。



異年齢 集団活動

縦割り班遊び



小中一貫教育

小中合同研修会



みんなの考えを共有



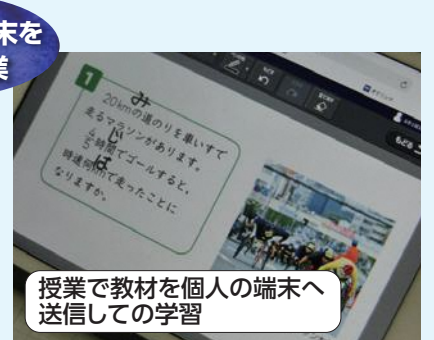
地域の方と 体験活動

スクールサポーターさんと さつまいもの苗付け



タブレット端末を 使った授業

タブレット端末から時間割確認



授業で教材を個人の端末へ 送信しての学習

## 西宇治中学校



西宇治中学校は、今年で開校74年目の中学校です。全校生徒は、450名、16学級(令和3年5月1日現在)の中学校です。「日々新たに」を学校教育目標とし、「笑顔と挨拶一杯の西宇治中～諦めない」「認め合う」「前へ～」をスローガンとしています。

今年度の研究テーマは「基礎・基本の定着と確かな学力を身に付けるための指導方法の工夫～主体的に言語活動に取り組み、確かで豊かなことばの力を身に付けさせる学習～」です。①「質の高い学力の向上」、②「豊かな人間性の育成」、③「望ましい生活態度の確立」、④「開かれた学校づくりの推進」を取組の4つの柱(指導の重点)とし、組織的、計画的、継続的に研究を推進しています。

また、小中一貫教育の充実を図るため、小中一貫教育目標を「自立への学びと社会性の育成を推進し心豊かでたくましい人間を育てる」とし、伊勢田小学校、神明小学校との二小一中で、小・中学校のなめらかな接続を図っています。

本校は宇治市唯一の「地域開放型教室」事業の対象校であり、教室開放運営委員会が中心となり、特別教室や図書室を広く地域の活動に開放しています。昨年度はコロナ禍にあり中止となりましたが、毎年、登録団体の発表の場として「西宇治オープンフェスタ」が開催されています。

これからも、学校・家庭・地域社会が綿密につながり協働することによる、社会総がかりの教育を通して、夢や希望にあふれ自校を誇れる子どもの育成を目指します。



【小中一貫教育合同研修】



【あいさつ運動】



【ひまわりプロジェクト】



【タブレット端末を使った授業】



【体育大会】



【非行防止教室】



【部活動(吹奏楽部)】



【情報モジュール教室】

『宇治市の教育だより』は、宇治市のホームページから閲覧することができます。

宇治市ホームページ<https://www.city.uji.kyoto.jp/> キーワード検索  検索



シリーズコラム 子どもへの心と育ちを考える

第4回 「信じて待つこと」の大切さ  
—それぞれが持っている特別な「時計」—

1学期も終わりになる時期ですね。どんな1学期だったでしょうか。

毎年、4月の新学年の頃、小学校低学年のクラスでは、「お母さんから離れていく」という様子を示すお子さんがいます。新しい世界へ入っていくときには、誰でも不安になりますが、特にそういう気持ち強いお子さんは、学校に入っていくことは、あまりにも大きな冒険に感じられるようです。

「待つ」時には、お母さんも不安になります。すると、子どもの不安がお母さんの不安を呼び、お母さんの不安がまたさらに子どもの不安を高め、悪循環になってしまふこともあります。こんな時には、「お母さんと子どもの不安を、両方まるごと抱えてあげながら、子どもが自分のペースで少しずつ離れられるようになるのを待つ」という働きかけが、一番有効だということとは、子どもに関わる多くの大人たちが知恵として受け継いできたことのように思います。もちろん、ほどよく促すことはするものの、基本は「本人のペースを信じて待つ」という「待つ」はなごころでしょうか。

待っていると思っても、「子どものペースを信じて待つ」のは、難しいようです。

小学校低学年のお子さんの話から始めましたが、もう少し年上の、高学年から中学生の子どもたちの中にも、学校に行きにくい、「不登校」の子どもたちがいます。そういった、思春期のお子さんたちの場合にも、「子どものペースを信じて待つ」うちに、先に進む道が大きく開けてくることをしばしば体験します。中学生の間は難しい場合でも、もう少し後になってからでも、さなぎから羽化する蝶のように大きく羽ばたいている方々にも多く出会ってきました。

カレンダーや時計は、みな同じ時間を刻んでいます。ですが、人が育っていく中では、それぞれの人が自分だけの時間を刻む「目に見えない特別な時計」を持っているのではないかと、思うことがあります。この「時計」は、大人も、きつと持っています。そして、その時計が「その人にとって大切な時刻」を示す時があるようです。そういう「大切な時刻」を見逃さないようにするために、「信じて待つ」ことが必要なのではないでしょうか。それでもやはり、「待つ」のは難しいし、時にはつらいようです。

やはり、よいよ夏休みです。一年の中で一番「大きなまとまりの時間」がある日々になります。少しばかり、自分の中の「時計」に耳を澄ませながら、これまでのことや、これからのことに思いを馳せてみられると長いかもしれませんね。みなさま、どうぞ良い夏休みをお過ごしください。

(スクールカウンセラー K.M)

令和4年度 宇治市全小・中学校がコミュニティ・スクール(地域とともにある学校)を目指します

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置する学校の総称であり、平成29年、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により設置が努力義務となりました。

宇治市では、小中一貫教育を基盤としつつ、各校がコミュニティ・スクール「地域とともにある学校」を目指して準備を進めています。

宇治市教育委員会では、令和2年度より菟道小学校、南宇治中学校、宇治黄檗学園〔宇治小学校・黄檗中学校〕を研究推進校に指定しています。研究推進校においては、よりよい学校、よりよい仕組みとなるよう研究が先駆けて進められ、研究成果は市内全小・中学校へ広めていきます。

コミュニティ・スクールでは、「地域でどのような子どもたちを育てるのか」「何を実現させていくのか」という目標やビジョンを、地域と家庭、学校が共有し、一体となって子どもたちを育てていきます。



本年度の研究指定校

本市の小・中学校では、児童生徒に質の高い学力や豊かな人間性を身に付けさせるための積極的な研究活動等を行っています。

京都府教育委員会指定

- 学びの深化プロジェクト実施校 ……南宇治中学校
- 絆の作り手育成プログラム研究校 ……宇治黄檗学園 宇治小学校
- 未来の担い手育成プログラム研究校 ……宇治黄檗学園 黄檗中学校
- 新たな学力分析(IRT)に係る調査研究 ……宇治ひろの学園ブロック (大久保小学校、大開小学校、広野中学校)
- 地域・企業等と連携したPISA型読解力育成事業 ……広野中学校
- 食に関する指導充実事業実践中心校 ……神明小学校、南小倉小学校

京都府山城教育局指定

- 山城地方学校力向上トライアル校… 東宇治中学校

京都府小学校教育研究会

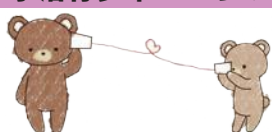
- 研究会協力校 ……伊勢田小学校 (健康安全) 西小倉小学校 (体育)

京都府公立幼稚園・こども園教育研究会

- 研究指定園 ……東宇治幼稚園



「宇治青少年こころの電話」がリニューアルしました!



「ふれあい教育相談」

サンキュー キナク

電話 0774-39-9179 平日の午後1時から5時まで

メールアドレス k-soudan@city.uji.kyoto.jp

対象 小・中学生の皆さん 保護者の皆さん 電話でもメールでも お気軽にご相談ください



メールアドレス用 QRコード